

National
Parks
of Japan



新時代のインバウンド拡大アクションプラン推進会合
(2023年8月4日 15:00～15:30開催) 環境省発表資料



国立公園における取組について

- ・滞在体験の魅力向上
- ・国立公園制度100周年に向けた記念事業

2023年8月4日

環境省

国立公園制度100周年に向けた記念事業について

自然公園法の前身である国立公園法制定の1931年（昭和6年）から100周年を迎える2031年（令和13年）に向けて、我が国の傑出した自然の風景地であり、生物多様性保全の屋台骨である国立公園について、次の100年も守り・楽しみ、国民全体が愛着と責任を持って支えていくための機会を継続的に創出する。



★記念事業ロゴマークの公募

★次の百年も国民全体で支えていく機運醸成・取組継続

国立公園における滞在体験の魅力向上について

インバウンド再開を踏まえ、国立公園満喫プロジェクトの更なる展開として、民間活用による国立公園利用拠点の面的な魅力向上に取り組み、美しい自然の中での感動体験を柱とした滞在型・高付加価値観光の推進を図る。

本年1月～6月に有識者検討会を開催。民間提案を取り入れ、国立公園ならではの感動体験を提供する宿泊施設を中心とした、利用拠点の面的魅力向上の取組の方向性や進め方を検討。議論を踏まえ、本年6月「宿舎事業を中心とした国立公園利用拠点の面的魅力向上に向けた取組方針」を策定。

取組方針：国立公園の利用の高付加価値化に向けた方向性

- 国立公園の魅力的な自然環境を基盤とし、その土地の生活・文化・歴史を踏まえた、本物の価値に基づく感動や学びの体験を提供し、利用者に自己の内面の変化を起こす。
- 関係者が、持続可能で責任ある観光の姿勢を共有し、保護と利用の好循環を目指す。



本日、取組方針に基づき、国立公園における滞在体験の魅力向上のための先端モデル事業の対象とする国立公園として、**十和田八幡平、中部山岳、大山隠岐**国立公園を選定。なお、他にも有望な候補とされた公園があり、今後、地元と調整した上で追加を検討。

※対象公園の選定の考え方

以下の4点を踏まえ、将来的な他地域への展開も見据えて環境省が選定

- ①広域的な利用推進の観点があること
- ②国が取組を調整・実施する意義や効果が見込まれること
- ③地域の合意形成の枠組み、利用の行動計画、環境省の体制等の基盤があること
- ④滞在型・高付加価値観光を行う具体的な利用拠点の候補を含むこと

国立公園ならではの感動体験を提供する宿泊施設を中心とした利用拠点の面的魅力向上のイメージ



国立公園における滞在体験の魅力向上のための先端モデル事業 対象公園の概要

十和田八幡平国立公園（十和田湖地域）

- 選定のポイント：利用拠点の再生による新たな魅力づくり

- 概要：

十和田湖地域は青森県・秋田県にまたがる。八甲田山、十和田湖、奥入瀬溪流などがある山と湖と溪流の公園。十和田湖地域の利用拠点の一つである休屋地区は、環境省所管地の集団施設地区で、多数の廃屋の撤去を進める中、跡地の活用が課題となっており、北東北観光の宿泊拠点となることが期待される。国立公園満喫プロジェクトの先行8公園の一つ。



十和田湖



休屋集団施設地区

中部山岳国立公園（南部地域）

- 選定のポイント：山岳地域の利用の高付加価値化を含めた広域連携

- 概要：

南部地域は長野県・岐阜県にまたがる。北アルプス一帯を占める我が国を代表する山岳公園で穂高連峰や槍ヶ岳、乗鞍岳など標高3,000m級の山々や、上高地、乗鞍高原、新穂高、平湯等の標高1,500m前後の高原地域で構成。松本高山Big Bridge構想に取り組むなど広域連携を推進している。国立公園満喫プロジェクト先行8公園に準ずる+3公園の一つ。



3,000m級の山岳景観



高原地域でのアクティビティ

大山隠岐国立公園（大山蒜山地域）

- 選定のポイント：日本の伝統的自然観や歴史文化を踏まえた自然体験の拠点づくり

- 概要：

大山蒜山地域は鳥取県・岡山県にまたがる。中国地方最高峰の大山はじめ、蒜山、三徳山などの火山群とその山麓の高原地帯からなる。大山は古くから信仰の対象とされ今日でも参詣道が残っているなど、自然と歴史文化の関わりが豊かな地域となっている。国立公園満喫プロジェクト先行8公園の一つ。



大山登山



たいまつ行列（大山寺地区）

なお、他にも有望な候補とされた公園があり、今後、地元と調整した上で追加を検討。

※ 観光庁の高付加価値旅行者の誘致に向けて集中的な支援等を行うモデル観光地の取組とも連携。

国立公園における滞在体験の魅力向上のための先端モデル事業

今回選定した対象公園において、該当公園の利用の高付加価値化に向けた基本構想を検討。基本構想の検討にあたっては、民間提案を募集し、推進枠組みを検討する。検討状況を踏まえ、推進体制の構築状況や国立公園としての滞在型・高付加価値観光を進めるポテンシャル等の観点から、2024年度から集中的に取り組む利用拠点を含め合計1～2箇所選定予定。

2024年度～



民間の発想を生かした国立公園の拠点の磨き上げ、官民による集中的な取り組み実施

100周年34国立公園物語の発信（案）

制度100周年を前に、国立公園に関わる多くの人々に「聞き書き」を実施し、国立公園の自然を舞台に連綿と続いてきた歴史・文化・暮らし・風習を、34の国立公園物語としてまとめて、多言語化して発信。

<参考イメージ> 自然の郷ものがたり～阿寒摩周国立公園の暮らし～

自然の郷ものがたり

阿寒摩周国立公園の暮らし

【自然の郷ものがたり#20】この風景を後世に残すために【写真企画...】

阿寒の風景をめぐる阿寒湖畔から、遙く雄阿寒岳を望む野鳥がさえずる湖畔を歩くと、開けた空に雄阿寒岳の...

【自然の郷ものがたり#19】カメラマン松葉末吉の世界【写真企画】

昭和初期の川湯温泉で活動していたアマチュアカメラマン、松葉末吉。2005年に町内で発見された松葉の...

【自然の郷ものがたり#18】弟子屈の自然を体験するアウトドアの...

弟子屈町には豊かな自然を体感できるアクティビティが豊富にあります。この地で自然や町の魅力を、自転車...

【自然の郷ものがたり#15】「この自然が好きだから」と洋菓子店...

川湯温泉街で唯一の和洋菓子店「菓子司 風月堂」（2022年2月現在）、観光客だけではなく、住民の生活に...

【自然の郷ものがたり#14】自分が受け取った感動を次の世代に渡...

旭大を卒業後、札幌のホテルで働いていた佐藤まきさんは、23歳のときに転勤で阿寒へやって来ました。もと...

【自然の郷ものがたり#13】受け継がれる「一歩園精神」、阿寒「...」

阿寒にはかつて、この美しい自然を愛し、人々の幸せな暮らしを願った1人の女性がいました。「阿寒の八木...

【自然の郷ものがたり#12】アイヌ文化は共有財産 伝統を守りつ...

道東を代表する観光地のひとつ、阿寒湖温泉。雄阿寒岳と雄阿寒岳に囲まれ、特別天然記念物マリモリの群生地...

【自然の郷ものがたり#11】親から子へと受け継がれた、自由な...

屈斜路湖畔に佇む、可愛らしい三角屋根が特徴的な「S OMOKUYA」。ここは小樽市出身の土田祐也さんと境...

『自然の郷ものがたり～阿寒摩周国立公園の暮らし～』第二弾を制作...

みなさん、こんにちは！ドット道東です。ドット道東は、前年度に引き続き環境省からの委託を受け、阿寒...

5

記念貨幣

本年度に発行予定の記念貨幣

- 本年度は、「2025年日本国際博覧会記念貨幣^{にっぽん}」を発行することとしており、本年4月14日に発行に係る閣議決定等が行われた。

貨幣の種類	千円銀貨	
図柄	表面	裏面
	 <p>『2025年日本国際博覧会 ロゴマークと夢洲(ゆめしま)の万博会場』</p>	 <p>『2025年日本国際博覧会 ロゴマーク』</p>
発行枚数	5万枚	
申込等時期	申込期間:2023年8月8日~3週間程度、発送時期:2023年11月下旬~	

その他の発行実績

- 1964年の東京オリンピック記念貨幣を第一号として、これまでに45テーマの記念貨幣を発行。

1. 皇室の御慶事に関するもの

(例) 天皇陛下御即位(令元)など



2. 国際的な行事に関するもの

(例) 2020年東京オリンピック・パラリンピック(平30~令2)など



3. 国家の主権・制度・機構に関するもの

(例) 近代通貨制度150周年(令3)など



4. 国家的プロジェクトに関するもの

(例) 新幹線鉄道開業50周年(平26~28)など

